

2021



3年生が図書の本を借りて校長室前を通りました。「何を借りたのかな？」と聞くと「校長先生、初めて私、怖い本に挑戦します」「僕は初めて長い(分厚い)本を借りました」と。かわいい～♡ 子どもたちは図書委員さんが作ってくれたビンゴゲームのおかげで、いろいろなジャンルの本に挑戦しているのですね。図書委員会さんのアイデア、ナイスです。(補足：怖い本が苦手な人は別の本でもいいそうですよ。) いっぱい本を読んでほしいな。



# 大江の風

12月2日

No.111

語り部の三田村さんは80歳。病氣と闘い自分の命を削りながら私たちに話してくださいました。私は1年ぶりの再会、お互い生きてまた会えたことを喜びました。

## 充実した2日間～修学旅行

朝から長崎の雨雲レーダーとずーっとにらめっこ。バスの中では添乗員さんと写真屋さんと一緒に「平和記念像の前での集合写真は絶対撮りたいね」と、刻々と変わる天気予報をチェックしていました。とにかく午後には雨が降る。雨が降る前にできるだけ早くフィールドワークに入りたい。ということで11時前に早めに昼飯。トルコライス。みんな朝ごはんが早かったのでおなかがすいていたのでしょう。とても喜んで食べていました。このホテルのコーンクリームスープとアイスは絶品でした。雨が降る前に平和公園着。急いで集合写真を撮り、ほっとしました。そして3組が取り終えたらすぐに雨が降り出しました。平和記念像の前で平和集会をしている他の学校の子どもたちはずぶぬれでした。(かわいそうに・・・) 現地ガイドさんとフィールドワークへ出発。雨がひどくならないことを祈っておりましたが、途中突然横殴り強い雨で足元はずぶ濡れ。強風で私の傘は3回ラッパ傘になりました。でも子どもたちは、雨にも負けずガイドさんと共に現地を歩き、自分の目で確かめて説明もしっかり聞いていました。この苦労は、平和を祈る気持ちと一緒に、一生忘れないでしょう。雨がもっとひどくなる前に原爆資料館へ到着。講話を聞き、管内見学、そして追悼空間で祈りをささげました。子どもたちの真剣な顔つきに、成長を感じました。

みんなが楽しみにしていたホテル。お風呂であったまりおいしい卓袱料理(子供版)を食べ、部屋での自由時間はカードゲームなどで楽しく過ごしたようです。友達との恋バナもいい思い出ですね。

2日目はハウステンボス。子どもたちは事前によく調べて計画を立てていましたね。班で仲良く行動していました。お財布をお店に置き忘れた友達のために、全員でその店まで急いで戻って見つけてくれた班もありました。仲間の優しさ、きっと忘れないでしょう。

今回はガイドさんもベテランでとってもお上手で、道中ずっと学習をしていきました。ガイドさんのお話にも笑いながらも、平和学習や長崎の勉強をたっぷりしました。ガイドさんの話術で眠気もふっとびました。



被爆2世である子どもさんは早くに亡くなりました。とても苦しい母の気持ちを話してくださいました。みんなに「絶対に死なないで。死にたいかと思った時はお母さんの顔を思い出して」とおっしゃいました。涙がでそうになりました。みんなの心にも三田村さんの魂の言葉が届いたと思います。

### 【解散式の発表】・・・とてもすばらしい学習のまとめを発表してくださいました。

僕が修学旅行で一番心に残ったのは、原爆資料館です。展示されている写真や遺品は、思わず目をそむけたくくなるような戦争の恐ろしさや原爆の恐ろしさ、残酷さを物語っていました。それを間近で直接見ることによって、戦争というものを初めて、身近に感じる事ができました。こんなことが現実に起きたなんて信じられません。このようなことが二度と起こってはならないと思いました。それと同時に戦争と被爆の記憶を風化させてはいけないとも思いました。

戦争からは何も良いことは生み出されません。生み出すのは憎しみや悲しみです。そして多くの命が奪われ、たくさんの人傷ついています。僕はこの修学旅行で、命の尊さと平和の大切さを改めて学習することができました。この気持ちを忘れずにこれからの学びに生かしていきたいです。



今回の修学旅行を一言でいうと「深める」かな。学びを深め考えを深め、平和への思いを深め、そして友情を深めた2日間でした。